

**2025  
12**

No. 751

# 國學院大學 学部

国学院大学

令和7年12月20日(土) 定期号(毎月20日発行) 1部20円  
[発行]国学院大学 [編集]総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目10-28 [電話]03(5466)0130 [FAX]03(5466)0528

**祭 儀** ■ **大祓** 12月24日(水) 午後4時 神殿 ■ **歳旦祭** 1月1日(木・祝) 午前11時 神殿

雪まつり  
山峠の殘雪の道を  
あゆみ久しう  
と思ふ  
しづけや

# 実践と対話の 心理学

教育開発推進機構・内村慶士助教

臨床心理学の専門家に相談するというと、まるで一大事のようなイメージを抱いてしまっていいだろうか。内村慶士・教育開発推進機構助教が、体现しようとしているのは、もっと気軽に、そしてフランクに相談しに来れる相手としての、臨床心理学の実践者だ。

5面に続く



# 研究者に聞く

# 陸上競技部 箱根駅伝壮行会

**“はばちかす～想いの継承、そして革新へ～”  
を掲げ初の総合優勝を目指す**



テイハイフマラソンでは、青木瑠郁選手（健体1）がU20日本記録で6位に入賞したほか、22日の八王子ロングディスタンスでは野中恒亨選手（健体3）が1万メートル日本人学生歴代6位の記録で走り、本学最速記録を更新。箱根駅伝に向けチームは勢いに乗る。

12月12日には渋谷キャンパスで壮行会が行われ、針本正行学長から上原主将に激励とともにたすきが手渡された。前田康弘監督が「今年のチームは、上級生を中心非常に愛と信頼感のあるチーム。当日まで全身全霊で準備をしたい」、上原主将が『はばちかす』のスローガンのもと、総合優勝を目指にして1年間練習に取り組んできた。堂々とスタートランインに立ちたい」とそれぞれ意気込みを語つた。

みはるかすもの

全国各地で発生した大規模火災で被災された皆さまへ

国学院大学

11月30日にホームカミングデーが開催された。平成21年度に開催した第1回以来、順調に参加者数を伸ばしている。今年度は学生団体の参加が増加したほか、院友会各支部の協力があり、例年より多くの物産展が並んだ。今回は、久しぶりに若木育成会キャンパス見学会を同日に開催し、学生卒業生、御父母が渋谷キャンパス、横浜たまプラーザキャンパスに集う機会となつた。我が国では年越しの風習として、一家団欒で年越しとしをしようという風習がある。海外でも年越しに纏わる様々な風習はあるが、一家団欒で年越し蕎麦を食べるというそれは、日本独特のものであるようだ▼「団欒」という言葉は、中国の南宋時代に由来し、今から9

名（種子は数珠に使用される）」を示す。これらことから「團鑑」とは「人々が集まって、樂しく語り合うこと」（難読語辞典）と解されるようになつたとされている。学生、卒業生、御父母が一般に会して語り合う機会であることに鑑みれば、チーム力ミーティングデーは大学における「團鑑」の機会と言えるかもしれない▼この渋谷 この横浜に学びゆく 集う成果が 未来を創る／本学で学だ個々の成果は、いずれ一人ひとりの人生を照し、ひいては本学の未来を輝くものにするはずある。課外活動の成果もまた然り。

主な内閣

2面／第6回観光まちづくりフォーラム 次世代につなぐ観光まちづくりを議論

面／令和8年度 学年暦が決定

**4面**／ホームカミングデー&若木育成会キャンパス見学会を開催 **5面**／研究者に聞く **6・7面**／高校生コンテスト入賞作品決定

最終面から K:DNA I面／陸上競技部 箱根駅伝 エントリー選手発表

## 第6回観光まちづくりフォーラム

## 次世代につなぐ観光まちづくりを議論

International Coffee Hour  
(神道DAY)を開催

国際交流課が主催するInternational Coffee Hourが11月14日、渋谷キャンパス2号館の祭式教室で開催され、K-STEP交換留学生や学部生ら30人以上が参加した=写真。

今回は「神道DAY」と称して、神楽舞サークルみすゞ会と禮法研究会の協力を得て行った。参加者らは、禮法研究会の学生から玉串拝礼の作法を習い、みすゞ会の学生と一緒に神にささげる舞の所作を練習した。初めは慣れない所作に戸惑う様子も見られたが、丁寧な指導を受けながら練習し、最後は互いの上達した姿をたたえ合う光景が見られた。

第8回オール国学院  
親睦ソフトボール大会を開催

第8回オール国学院親睦ソフトボール大会が11月16日、たまプラーザキャンパスで開催された。快晴の下、学校法人国学院大学の設置校および学校法人国学院大学栃木学園の役教職員からなる7チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

開会式では、佐柳正三理事長によるあいさつと始球式の後、試合を開始した。参加者たちは親交を深めながら合計10試合を戦い抜き、法人チーム(学校法人国学院大学役教職員他で構成)が優勝を飾った=写真。

石井研士名誉教授が  
令和7年度文化庁長官表彰を受賞

文化庁による令和7年度文化庁長官表彰の表彰者が12月10日に発表され、石井研士名誉教授が令和7年度文化庁長官表彰を受けた。

この表彰は、文化活動に優れた成果を示し、日本文化の振興に貢献した団体・個人、または、日本文化の海外発信、国際文化交流に貢献した団体・個人に対し、その功績をたたえるため文化庁が実施している。

石井研士名誉教授は、宗教学、宗教社会学が専門。日本宗教連盟の学識理事として宗教文化振興のための事業活動に携わる他、宗教法人や宗教者が行ってきた社会貢献活動について学識者として社会に発信することに尽力したことや、宗教法人審議会委員を5期務め、最終期には会長として宗教界をめぐる諸問題に関わり、長きにわたって宗務行政に貢献をしている点が評価され、今回の表彰となった。

表彰式は12月17日に京都市内の会場で行われた。

## 嵐山光三郎・元客員教授 逝去

国学院大学元客員教授の嵐山光三郎氏が11月14日に逝去。83歳。葬儀は近親者のみで執り行われた。

嵐山氏は昭和17年生まれ。40年国学院大学文学部文学科卒業。雑誌編集者を経て作家として活躍した。平成20年度から令和6年度まで国学院大学客員教授。主な著書に『素人庵丁記』(講談社、1987年)、『文人悪食』(マガジンハウス、1997年)、『泉鏡花文学賞』および『読売文学賞』を受賞した『悪党芭蕉』(新潮社、2006年)。

## 教職員人事

## 【採用】

◆大学事務局◇専任▷久保田涼介(学術メディアセンター事務部図書館事務課書記)  
(令和7年12月1日付)

# 令和8年度 学年暦が決定

令和8年度の学部・大学院の学年暦が決定した。  
詳細は別表のとおり（入試関連業務を除く）。

学部学年暦	
4月1日(水)～9日(木)	オリエンテーション、履修ガイダンス等
4月2日(木)	入学式
4月10日(金)	前期授業開始
4月29日(水・祝)	祝日授業日（昭和の日）
5月1日(金)	神殿鎮座記念祭（休講）
5月2日(土)	校内整備（休講）
7月20日(月・祝)	祝日授業日（海の日）
7月23日(木)	前期授業終了（保育士課程以外の科目）
7月24日(金)～30日(木)	前期試験 ※保育士課程の科目は授業を実施
8月4日(火)～6日(木)	追試験 ※6日は予備日
8月7日(金)～9月18日(金)	夏季休暇
9月1日(火)～4日(金)	サマーセッション①
9月8日(火)～11日(金)	サマーセッション②
9月19日(土)	後期授業開始
9月21日(月・祝)	祝日授業日（敬老の日）
10月12日(月・祝)	祝日授業日（スポーツの日）
10月31日(土)	校内整備（休講）
11月1日(日)	国学院大学創立記念祭（休講）
11月4日(木)	国学院大学創立記念日（休講）
11月23日(月・祝)	祝日授業日（勤労感謝の日）
12月23日(水)	年内授業終了
12月24日(木)～令和9年1月6日(水)	冬季休暇
1月7日(木)	授業再開
1月16日(土)	大学入学共通テスト（休講）
1月20日(木)	後期授業終了（保育士課程以外の科目）
1月22日(金)～28日(木)	学年試験 ※保育士課程の科目は授業を実施
2月5日(金)～8日(月)	追試験 ※8日は予備日
3月21日(日)	卒業式
3月23日(火)～26日(金)	スプリングセッション
全日補講日…5月7日(木)、10月30日(金)、11月5日(木)、1月21日(木)	

大学院学年暦	
4月1日(水)	入学式
4月1日(水)～9日(木)	履修指導・オリエンテーション
4月10日(金)	前期授業開始
4月29日(水・祝)	祝日授業日（昭和の日）
5月1日(金)	神殿鎮座記念祭（休講）
5月2日(土)	校内整備（休講）
6月1日(月)	「修士学位申請論文題目届」提出締切（正午）
7月20日(月・祝)	祝日授業日（海の日）
7月23日(木)	前期授業終了
7月24日(金)～28日(火)	前期集中講義①
7月29日(水)～8月1日(土)	前期集中講義②
8月2日(日)～9月18日(金)	夏季休暇
9月16日(水)	博士前期課程9月修了最終試験
9月19日(土)	後期授業開始
9月21日(月・祝)	祝日授業日（敬老の日）
9月30日(木)	博士前期課程9月修了学位記授与式
10月12日(月・祝)	祝日授業日（スポーツの日）
10月31日(土)	校内整備（休講）
11月1日(日)	国学院大学創立記念祭（休講）
11月4日(水)	国学院大学創立記念日（休講）
11月23日(月・祝)	祝日授業日（勤労感謝の日）
12月23日(水)	年内授業終了
12月24日(木)～9年1月6日(水)	冬季休暇
1月7日(木)	授業再開
1月16日(土)	大学入学共通テスト（休講）
1月20日(水)	後期授業終了
1月21日(木)～25日(月)	後期集中講義①
1月26日(火)～29日(金)	後期集中講義②
2月16日(火)	【文学研究科】最終試験
2月19日(金)	【法学・経済学研究科】最終試験
3月20日(土)	学位記授与式
全日補講日…5月7日(木)、10月30日(金)、11月5日(木)	



両名は法律の勉強が日々の実務にどのように生かされているか、また、弁護士として実際に担当した具体的な事例などをについて、詳細に説明。それらの事例に基づき、学生たちがグループに分かれ、弁護士の立場となつて、法的解決方法や、和解する場合の内容を話し合い、発表する実践的なセッションも設けられ、参加した学生は法曹実務の一端を体験する貴重な機会となつた。

## 体育連合会が献血功労者厚生労働大臣表彰を受賞



令和7年度の献血功労者への厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式および東京都知事感謝状贈呈式が11月28日に東京都庁第一本庁舎で行われ、国学院大学体育連合会に感謝状などが授与された。

この表彰は献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した個人および団体に贈られるもので、同会は昭和37（1962）年より継続的に協力してきたことから、今回の表彰となつた。

受賞者代表として登壇した同会会长の松沢夏月さん（日文4）=写真右=は「私たち若い世代が主体となり、献血の輪をさらに広げていくことが社会を支える力になると信じて今後も活動を継続していきたい」と語った。

## 観光まちづくり学部 鎌倉市を見つめるフィールドワーク



予定である。

### 観光まちづくり学部

この演習は2年次から3年次にかけて段階的に専門性を高める演習科目群の中核となる科目で、学生たちがおよそ5グループに分かれて、文献調査や統計データ分析などを行いながら、例年同市を対象に地域の分析に取り組んでいる。

学生たちは11月8、9日を中心に、現地調査に臨んだII写真。9日には29チームが同市を訪問し、「観光行動」「ごみ問題」「観光と防災」などそれぞれにテーマを設定し、調査を行った。

学生からは「テーマに対して明らかにしたかったことが分かった」「意外な発見や気づきがあった」といった手応えを感じる一方、「計画していた調査手法がうまくいかなかつた」「チームで意見がまとまらず苦戦した」と現地調査の難しさも体感した。今回の活動は引き続き授業を行われ、来年初めにはループが最終選抜されたグループが最終授業で成績を発表する合同発表会で成果を発表・共有する予定である。

## 法学会 講演会を開催

今年度の第3回と第4回の法学会講演会が、渋谷キャンパスで開催された。

11月18日に開催された第3回では、講師に奈良県磯城郡田原本町の高江啓史町長II写真IIを招き、「人と人の『縁』がつなぐ未来」と題して講演を行った。講演の前半では自身のこれまでの経験からキャリアにおける「縁」の意義を、後半では、まちづくりにおける「共創自治」の理念と、住民や企業など多様な主体が参画する仕組みの重要性について述べた。

最後に参加した学生らに向けて「縁」を大切にして、巡りあわせを受け入れながら歩む人生もまた尊い。そこにこそ、人の道の調和がある」とメッセージを贈った。

第4回は12月4日に行われ、弁護士の宮田直紀氏（あみた綜合法律事務所）と平野可菜氏（弁護士法人丸の内ソレイユ法律事務所）が「弁護士に聞いてみよう『法はどこで生きる？』」と題して講演を行つた。

両名は法律の勉強が日々の実務にどのように生かされているか、また、弁護士として実際に担当した具体的な事例などをについて、詳細に説明。それらの事例に基づき、学生たちがグループに分かれ、弁護士の立場となつて、法的解決方法や、和解する場合の内容を話し合い、発表する実践的なセッションも設けられ、参加した学生は法曹実務の一端を体験する貴重な機会となつた。

この演習は2年次から3年次にかけて段階的に専門性を高める演習科目群の中核となる科目で、学生たちがおよそ5グループに分かれて、文献調査や統計データ分析などを行いながら、例年同市を対象に地域の分析に取り組んでいる。

この演習は2年次から3年次にかけて段階的に専門性を高める演習科目群の中核となる科目で、学生たちがおよそ5グループに分かれて、文献調査や統計データ分析などを行いながら、例年同市を対象に地域の分析に取り組んでいる。

この演習は2年次から3年次にかけて段階的に専門性を高める演習科目群の中核となる科目で、学生たちがおよそ5グループに分かれて、文献調査や統計データ分析などを行いながら、例年同市を対象に地域の分析に取り組んでいる。



# ホームカミングデー & 若木育成会キャンパス見学会を開催

国学院大学の院友（卒業生）が母校に集い、同級生らと旧交を温める「ホームカミングデー」と、在学生の保証人（父母ら）により構成される国学院大学若木育成会のキャンパス見学会が11月30日に開催された。写真上。

ホームカミングデー  
キャンバス見学会は渋谷・たまプラーザの両キャンパスで開催された。

ホームカミングデーは渋谷キャンパスで開催され、院友の家族らも交え、大勢の来場者が多彩な催しを楽しんだ。午前は針本正行学長と院友会の吉田茂穂会長（昭41修・74神專攻／鶴岡八幡宮宮司）によるあいさつに続いて、藤澤紫・伊フ・鳴屋重三郎と浮世絵の黄金期」を題して特別講演を行った。午後にはスペシャルトークイベントが開催され、埼玉西武ライオンズ野手チーフ兼打撃コーチを務める仁志敏久・本学客員教授と、同球団に所属する本学院友の武内夏輝投手（令6卒・132期健体）が登壇し、和やかにトークを繰り広げた。

また構内では院友を歓迎する催しが多数開催され、恒例の院友会支部物産展では、特産品を求めて大勢の来場者でぎわった。キャンパスモールや有栖川宮記念ホールでは、在学生や院友による演舞なども行われたほか、各教室では学部学科やゼミごとの同窓会や在学生による企画が実施された。

若木タワー1階には強化部会の応援ブースが設置され、硬式野球部、柔道部、

陸上競技部のユニホームを展示。箱根駅

伝で実際に使用するのぼりに応援メッセージを書き込むコーナーも設けられ、来場者から力強いメッセージが多数寄せられた。

ホームカミングデー  
キャンバス見学会は渋谷・たまプラーザの両キャンパスで開催された。

渋谷キャンパスでは、父母らがそれぞれ自由にキャンパス内を見学。博物館で同日まで開催されていた企画展「中世日本」の神々・物語・姿・秘説」を見学したり、学食で昼食を楽しんだりする姿も見られた。就職や留学についてのガイダンスも行われ、参加者たちは熱心に耳を傾けていた。

たまプラーザキャンパスでは、冒頭の全体オリエンテーションで太田直之・同キャンパス長（人間開発学部長・教授）がキャンパスの特長に触れながら、「学生が日ごろどのような環境で学んでいるのかを感じ取っていただきたい」とあいさつ。続いて職員より、キャンパスのこれまでの歩みや図書館の学修支援に関わる取り組みなどが紹介された。

オリエンテーション後は、観光まちづくり学部の説明会や就職ガイダンス、さらには渋谷キャンパスで実施されたホームカミングデー企画のライブ配信も行われ、いずれも多くの父母が参加した。このほか、学生と同じ学びの場を巡るなど、キャンパスでの日常を体験した。

## i-インフォダイジェスト

…在学生 …保証人 …卒業生 …一般 …受験生  
内内容 講師 回日にち 時時間 場場所 対対象 定定員 料料金 申申し込み 問問い合わせ

### 大学からのお知らせ

#### 年末年始の事務休止

内12月24日(水)から令和8年1月6日(火)まで、渋谷・たまプラーザの全事務室は閉室となります。同期間中は、学内の証明書自動発行機の利用もできません。授業開始は1月7日(水)です。

#### 災害で被害に遭われた皆さまへ

内令和7年11月18日に発生した大分市佐賀関の大規模火災や12月8日の青森県東方沖を震源とする地震などに伴う災害で、災害救助法が適用された地域に主たる家計支持者が居住し、家計の急変で今後の学業生活に支障をきたすおそれのある学生は、保証人（父母等）と相談のうえ下記の大学各窓口までご相談ください。適用対象地域は本学HPや内閣府防災HPでご確認ください。

問▶学生生活課（☎03・5466・0145）  
▶たまプラーザ事務課（☎045・904・7714）  
▶大学院事務課（☎03・5466・0142）

#### 令和8年度大学院春季入学試験

内国学院大学大学院博士前期課程および同後期課程では、令和8年度春季入学試験を実施します。日程等の詳細は本学HP（二次元コード）からご確認ください。

問大学院事務課（☎03・5466・0142）

#### 大学入学試験に伴う入校制限

内令和8年度大学入学共通テストおよび本学一般選抜入学試験実施のため、会場となるキャンパスへの入校を右表の通りに制限します。なお、該当期間は課外活動を行うことができません。

#### 大学入学共通テスト

日	時	立入制限区域など
1月16日(金) 入学試験準備日	終日	若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）
	16時10分以降	130周年記念5号館
	17時50分以降	120周年記念2号館
	19時30分以降	120周年記念1号館
1月17日(土)・18日(日) 入学試験当日	21時以降 終日	3号館、総合学修館（6号館） 120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館（6号館）、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）、若木タワー、学術メディアセンター

\*1月16日(金)17時から18日(日)まで国際交流センターと院友会館の通用門は封鎖。

#### 本学一般選抜入学試験

日	時	立入制限区域など
A日程 1月30日(金) 入学試験準備日	終日	120周年記念1・2号館、130周年記念5号館、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）
	終日	120周年記念1・2号館、130周年記念5号館、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）
	15時以降	3号館
	17時以降	総合学修館（6号館）
2月1日(日) 入学試験準備日	18時10分以降 終日	学術メディアセンター（博物館を除く） 120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館（6号館）、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）、若木タワー、学術メディアセンター（博物館を除く）
2月2日(月)～4日(水) 入学試験当日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館（6号館）、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）、若木タワー、学術メディアセンター（博物館を含む）
B日程 2月27日(金) 入学試験準備日	終日	120周年記念1・2号館、130周年記念5号館、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）
	終日	120周年記念1・2号館、130周年記念5号館、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）
	15時以降	3号館
	17時以降	総合学修館（6号館）
2月28日(土) 入学試験準備日	18時10分以降 終日	学術メディアセンター（博物館を除く） 120周年記念1・2号館、130周年記念5号館、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）
3月1日(日) 入学試験準備日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館（6号館）、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）、若木タワー、学術メディアセンター（博物館を除く）
3月2日(月) 入学試験当日	終日	120周年記念1・2号館、3号館、130周年記念5号館、総合学修館（6号館）、若木会館、百周年記念館（地下2階、4階）、若木タワー、学術メディアセンター（博物館を含む）

\*1月31日(土)17時～2月4日(水)、2月28日(土)17時～3月2日(月)は国際交流センターと院友会館の通用門は封鎖。

\*博物館の開館日は、博物館HPをご確認ください。

#### たまプラーザキャンパス

日	時	立入制限区域など
A日程 1月31日(土) 入学試験準備日	14時以降	
	終日	
	終日	
	終日	
2月1日(日) 入学試験準備日	終日	
2月2日(月)～4日(水) 入学試験当日	終日	
B日程 2月28日(土) 入学試験準備日	14時以降	1・2・3・5号館、Sports Square1・3、若木21
	終日	
	終日	
	終日	
3月1日(日) 入学試験準備日	終日	
3月2日(月) 入学試験当日	終日	



一前編一

## 臨床心理学をもっと身近に

支援と予防  
をつなぐまなざし

教育開発推進機構・内村慶士助教

研究者に聞く

全編はこちらから



後編

前編

## 学校の先生とは違った方法で一人ひとりと向き合いサポートできるのではと予感

こうした詳細についてはインタビューの後編でお伝えすることになりますが、現在の実践に至るまでに何を考え、試行錯誤を重ねてきたのかということを、まずはお話しできればと思っています。そのことによって、臨床心理学が私たちの日常とともに新しい学問であるということをお伝えされれば、と。

大学に入った当初は、かつて教わった恩師が素晴らしい方だったということもあって、中学校の教師になりたいと思っていた。そこからだんだんと考えが変わっていった。教員の先生方への尊敬の念はそのまま抱きつつも、生徒一人ひとりが抱えている困りごとやその背景にアプローチしていくことはできないだろうか……と考えるようになつていきました。

教員の方々が大変多忙なのは多くの人がご存知だと思います。その日々のなか、どうしでも対応がとりづらい生徒個々の状況というものがある。そこに自分が何か寄与できることはないだろうか、と感じるようになつたんです。やがて出会つたのが、臨床心理学という分野でした。

たとえば臨床心理学において有名な概念に、ジョージ・エンゲルという精神科医が唱えた「生物・心理・社会モデル (bio-psychosocial model)」というものがあります。これは人が抱える精神的な問題というものをトータルな視点で考えようというモデルで、生物学的な要因、心理的な要因、そして社会的な要因に分けつつその相互関係のなかで、多面的・包摂的に捉えていく、というものです。

私が当初教育の現場を志し、その過程でだんだんと見えてくるようになった生徒一人ひとりと向き合うことをめぐる課題というものに、臨床心理学を通じてなら、うまく応えることができるかも知れない。教員とはまた違った方法で、生徒たちのことを直接にサポートできるのではないか。そんな予感を抱きました。

## うちむら・やすし

博士(教育学)。専門は大学教育および産業・組織心理学。臨床心理士、公認心理師。東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース博士課程修了後、令和5年より現職。本学の合理的配慮や全学的な学修支援に携わっている。著書に『仕事からの切り替え困難に対する心理的支援』(東京大学出版会、2023年)がある。

近年特に力を入れて取り組んでいるのは、臨床心理学の知見をベースにした学修相談や心理相談です。これは主に本学の学生を対象としていて、「学修支援セントター」を起点にさまざまな活動に取り組んでいます。一方で学外でも、たとえばゲーマーの人たちのメンタルケアにかんしてイベントでブースを出してみたり、Vtuberをはじめとしたゲーム実況者などのメンタルヘルスについて考えはじめていたりと、すこしずつ活動の輪を広げているところです。

こうした詳細についてはインタビューの後編でお伝えすることになりますが、現在の実践に至るまでに何を考え、試行錯誤を重ねてきたのかということを、まずはお話しできればと思っています。そのことによって、臨床心理学が私たちの日常とともに新しい学問であるということをお伝えされれば、と。

大学に入った当初は、かつて教わった恩師が素晴らしい方だったということもあって、中学校の教師になりたいと思っていた。そこからだんだんと考えが変わっていった。教員の先生方への尊敬の念はそのまま抱きつつも、生徒一人ひとりが抱えている困りごとやその背景にアプローチしていくことはできないだろうか……と考えるようになつていきました。

教員の方々が大変多忙なのは多くの人がご存知だと思います。その日々のなか、どうしでも対応がとりづらい生徒個々の状況というものがある。そこに自分が何か寄与できることはないだろうか、と感じるようになつたんです。やがて出会つたのが、臨床心理学とい

うした臨床心理学の知見や技術に基づいて実践していく臨床心理士という専門家の仕事があります。私が臨床心理学の道に進んでみようと思った理由としては、やはりこうした現場での実践に直結した分野であることが大きかったのです。

もちろん、さまざまな仕事の仕方が存在します。相談に来た人の悩みや困りごとに耳を傾けて、一緒にその問題がなくなるような解決を探っていく場合もありますし、問題を問題として認識しなくなるような方法を探る場合もあります。

問題を問題として認識しなくなる、というと、どういうことだらうと思われる方もいるかもしれません。これは、その人が認識したことによって「問題」がそこに成立している、という考え方をとるということです。つまり、別の視点から見ればそれは「問題」ではなくなる、問題とされる状況は変わらないけれどもそこに「問題」は成立しなくなる、ということもあります。専門的には「ナラティブ・アプローチ」と呼ばれます。

具体的にいえば、教室で自分が周りから浮いている、と感じている人がいて、なんとか馴染まなきやいけないと苦しんでいるとします。ここには「問題」が成立しています。さて、困りごとを当人が話し、臨床心理士が聞いていくなかで、いや、それは別に浮いていてもいいんじゃないいか、自分が他人よりもっと変わっているくらいのほうがないのは、という考え方ふたりで至ることができたとする。すると、教室での状況は変わつてしまはず。ここには「問題」が成立していました。

たとえばその取り組みのひとつが、後に加筆・修正のうえ「仕事からの切り替え困難に対する心理的支援 持続可能な働き方の実現のために」(東京大学出版会、2023年)という書籍にまとめることになった博士論文でした。実際に働いている方々から提供いただいたデータを分析しながら、その困りごとをできるだけ事前に「予防」する方法を探る研究です。

この「予防」という観点は、現在本学で取り組んでいる学修相談や心理相談などに直結しています。インタビューの後編では、こうした近年の取り組みのことも合わせてお話しできればと思います。

## 困りごとを事前に“予防”する方法を探る研究



## 第21回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

## 折口信夫賞に日本大学三島高 地理・歴史部



折口信夫賞

「三島の郷土民謡農兵節について」(静岡・日本大学三島高 地理・歴史部)

## 地域文化研究部門

最優秀賞		「三島の郷土民謡農兵節について」(静岡・日本大学三島高 地理・歴史部)
優秀賞		「心を一つに！聖なる首里ケーナの魅力」 (沖縄・沖縄尚学高 地域研究部 梨賀ガールズ)
個 人		「金の蓋まんじゅうに関する考察～『渡辺清絵日記』から見る地域の伝統文化～」(柄木・矢板東高 リベラルアーツ同好会)
最優秀賞		「妖怪ツーリズムは近年どのように変化したのか 妖怪による近年の地域創生を追う」神田明玲(東京・渋谷教育学園渋谷高2年)
優秀賞		「和紙文化を未来へ繋ぐ 伝統と変容の調和」 河本有真音(岡山・山陽学園高2年)
個 人		「伝統舞踊の継承の難しさ～国場ウズンビーラを例にして～」 與那原弘督(沖縄・沖縄尚学高2年)

## 地域民話研究部門

最優秀賞		「河野氏閑連の伝承調査～衛門三郎伝承と御面雨乞い～」 (愛媛・松山北高 郷土研究部)
優秀賞		「和泉地区祭・青葉の笛をつなぐ3～義平とおみつ乱世に咲いた恋～」 (福井・大野高 JRC「結」)
個 人		「室伏半藏伝承からみる社会事業と日蓮宗」渡邊正太郎(静岡・富士高3年)
学校活動部門		「地元に伝わる『鹿島の金貨水神伝説』の絵本製作・普及活動」 (静岡・浜名高 史学部)
優秀賞		「八郎様・石祠・文化六年～源為朝を巡る歴史の矢を放つ試み～」 (福岡・朝倉高 史学部)
個 人		「伊勢崎めいせん学」(群馬・伊勢崎高 家庭クラブ「伊勢崎めいせん学」)

## 最優秀賞受賞者 喜びの声

## 地域文化研究部門 団体

3年連続で最優秀賞を受賞することができ、とてもうれしく思います。高校生活での研究活動に心残りはありません。伝承文化の継承は、自分の地域のアイデンティティを失わないようにするためにも重要なことです。伝承文化の魅力としては、中資料にはあらわれない、過去の人々の営みを垣間見られるということが挙げられます。

## 地域文化研究部門 個人

まさか受賞できるとは思っておらず、しばらく信じられませんでした。友人や家族で研究を始めました。はじめは分からぬことが多いが、不安でしたが、研究を進めるうちに、理解が深まり、意欲も高まっていきました。私が研究した「妖怪ツーリズム」は、地域に根付く妖怪の伝承を観光に活用するという地域振興策です。この研究を通して、伝承文化はまだ輝けると確信しました。

## 地域民話研究部門 団体

3年連続で最優秀賞を受賞することはでき、とてもうれしく思います。高校生活で、自分たちが研究した作品がこのような素晴らしいコンテストで最高賞の折口信夫賞を受賞することができ、とても光栄です。三島農兵節普及会の方や本校の校長先生など多くの人に聞き取りをして、できる限り正確で詳細な内容を発表するようにしました。私たちの学校がどれだけ地元に根付き、どのくらい地元に支えられてきたかということを知ることができました。

## 地域民話研究部門 個人

この度は最優秀賞に選出いただき、ありがとうございます。また、部活の後輩も今回優秀賞をもらおうとしているのは何故か」吉岡大翔(東京・佼成園高2年)

## 短篇小説の部 下村桜子さん

この度は最優秀賞に選出いただき、ありがとうございます。また、部活の後輩も今回優秀賞をもらおうとしているのは何故か」吉岡大翔(東京・佼成園高2年)

## 第29回全国高校生創作コンテスト

## 文部科学大臣賞に慶應義塾湘南藤沢高等部(神奈川)



文部科学大臣賞

慶應義塾湘南藤沢高等部(神奈川)

## 特別学校賞

千葉県安房西高(千葉)

## 短篇小説の部

最優秀賞 「潮の香るベンチで水平線を書く」下村桜子(岩手・大船渡高2年)

優秀賞 「地方争生」千葉蒼大(神奈川・慶應義塾湘南藤沢高等部3年)

## 現代詩の部

最優秀賞 「大久伸」菊池大和(岡山・津山工業高3年)

優秀賞 「ボトルメール」豊島穂南(愛知・時習館高3年)

「水槽のはなし」鈴木愛音(東京・国際基督教大学高3年)

## 短歌の部

最優秀賞 細田弥生(千葉・成田国際高3年)

優秀賞 浅井睦(埼玉・大宮高1年)

## 俳句の部

最優秀賞 奥田羊歩(群馬・高崎女子高3年)

優秀賞 武藤理央(群馬・高崎女子高2年)

優秀賞 富田輝(愛知・名古屋高1年)

## 俳句の部

【佳作】古角涼真(愛媛・松山東高3年)

【佳作】柴田風歌(静岡・静岡商業高2年)

【佳作】松本雛(埼玉・本庄第一高3年)

【佳作】啓音(和歌山・智弁学園山高3年)

【佳作】高知(高知・高知高2年)

【佳作】中村航(作家)

【佳作】植村十裕(京都・東宇治高3年)

【佳作】井上孝雄(東京都立高3年)

【佳作】水無田氣流(詩人・本学経済

【佳作】高教論(高教論)

【佳作】田中章義(歌人)

【佳作】堀本裕(俳人)

【佳作】村田勝利(高生新聞社代

【佳作】表取締役社長)

## 高校生コンテスト入賞作品決定

## 全国から応募総数1万5897点

全国高校生創作コンテストは、創作活動を通じて文章を書く遊び、ものを作り出す苦しさ、自分の考えを言葉として表現する難しさを感じながら美しい日本語の再発見と学修を目的として平成9(1997)年から開催されている全国規模のコンテスト。今回で29回目を迎え、全国の高校生から1万5781点の応募があった。内訳は、短篇小説の部782点、現代詩の部1007点、俳句の部705点、併句の部8287点。

審査の結果、文部科学大臣賞に慶應義塾湘南藤沢高等部(神奈川)特別学校賞に千葉県安房西高(千葉)が選ばれ、短篇小説の部で最優秀賞を受賞した下村桜子(岩手・大船渡高2年)の「潮の香るベンチで水平線を書く」をはじめ各

部門の最優秀賞、優秀賞も別表(敬称略)のように決まつた。表彰式では川則夫副学長のあいさつが代読され、院友会・川津浩一常務理事代行事務局長が来賓として登壇し、受賞者を激励した。また、審査員から部門ごとに講評が伝えられた。表彰式後に行われた懇親会では若木育成会・半田りえ子会長の祝辞が代読された。

佳作は次の通り。(敬称略)

【佳作】「なくしもの郵便局」森妃菜香(愛媛・松山北高2年)▼「子午線の向こうへ」杉田遥香(愛知・光ヶ丘女子高2年)▼「五文字の願い事」橋口花乃(愛媛・今治東中等教育学校5年)▼「捕食」横山公輝(奈良・奈良県立附属高2年)▼「ありがとうのコトコト煮」牛尾真大(神奈川・慶應義塾湘南藤沢高等部3年)▼「足扶口莉緒(広島・AIC高3年)▼「餅山口」山中天(大阪・枚方なぎさ高3年)▼「足扶成義塾湘南藤沢高等部3年)

【佳作】「風」花井梓里(東京・女子学院高3年)▼「公園」田川怜奈(神奈川・慶應義塾湘南藤沢高等部3年)▼「足扶」山中天(大阪・枚方なぎさ高3年)▼「餅扶」山中天(大阪・枚方なぎさ高3年)▼「空を掴む巨鳥」牛尼真大(神奈川・慶應義塾湘南藤沢高等部3年)

【佳作】「風」花井梓里(東京・女子学院高3年)▼「公園」田川怜奈(神奈川・慶應義塾湘南藤沢高等部3年)▼「足扶」山中天(大阪・枚方なぎさ高3年)▼「餅扶」山中天(大阪・枚方なぎさ高3年

K:DNA ——創立143年を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

## 陸上競技部

# 箱根駅伝 エントリー選手発表

令和8（2026）年1月2、3日に開催される第102回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）に出場する全21チームのエントリー選手が12月10日、関東学生陸上競技連盟から発表された。国学院大学陸上競技部のエントリー選手16人とその大会への意気込みを紹介する。

1面に関連記事

### エントリー選手



**上原 琉翔**（健体4）

チーム目標である総合優勝に向け、この1年間練習を積んできました。長い距離への対応力も高まっており、絶対に勝ちたいこの大舞台で、すべての力を発揮し、勝利をつかみます。



**後村 光星**（健体3）

昨年の悔しさを胸に、夢の舞台でリベンジを果たします。自分と向き合い地道に練習に取り組んだ事を自信に、チームの流れを引き寄せる走りで優勝に貢献します。



**吉田 蔵之介**（経営3）

昨年果たせなかつた思いを胸に、今年こそ「想いをつなぐ」駅伝で結果を残します。故障なく積み重ねてきた練習に自信を持ち、チームを優勝に導きます。



**尾熊 迅斗**（健体2）

昨年走れなかった箱根路は幼いころからの夢の舞台。走りこんだ手応えと冷静な判断力を生かし、インパクトのある走りでチームを初優勝へ導きます。



**青木 瑞郁**（健体4）

走るだけではない魅力がある箱根駅伝。副将として、個人よりもチームの総合優勝に全てをかけます。この1年間の練習で培ったスタミナを発揮し、最後の大仕事に挑みます。



**辻原 輝**（史3）

地元・二宮を走る箱根駅伝は憧れてきた大舞台。これまでの悔しさを力に変え、大舞台でも緊張しない走りで区間賞を狙い、優勝に貢献できるよう全力を尽くします。



**浅野 結太**（経営2）

チームの目標である初優勝を必ず成し遂げます。この1年で培ったメンタルの強さを武器に、憧れの舞台で区間賞を狙う走りを見せ勝利に貢献します。



**鼻野木 悠翔**（法2）

箱根駅伝は陸上を始めたころからの“将来の夢”。地道に積み上げてきた練習を力に変えて区間賞を目指し、総合優勝に最大限貢献します。



**嘉数 純平**（健体4）

昨年の悔しさを胸に、チームとともに青春をかけて積み上げてきたこの1年。その成果を力に変えて、任された区間で流れを作り、チームを悲願の優勝へ導きます。



**高山 豪起**（法4）

過去の悔しさを胸に、4年間の集大成となる走りを見せます。チームの結束力が問われる舞台で、磨いてきたスピード・持久力を武器に、必ず結果を残します。



**野中 恒亨**（健体3）

箱根駅伝は最大の目標にして、集大成を示す大舞台。走行距離を積み上げて鍛えたスタミナを発揮し、任された区間で区間賞を目指し、初優勝に貢献します。



**岡村 享一**（経営2）

当日変更となった昨年の悔しさを胸に、今年こそ夢の舞台でリベンジします。安定した練習を力に変え、流れを変えるゲームエンジニアとしての役割を担います。



**野田 順臣**（健体1）

総合優勝に貢献できるような走りで、地元に元気を届けます。粘りの走りという強みを生かして、最後まで走り、必ず区間賞を獲得します。

### 沿道での観戦・応援に関する注意事項

箱根駅伝の観戦・応援にあたっては、大会主催者が要望する次の「お願い」をご確認の上、順守してください。最新の内容は主催者HPでご確認ください（[二次元コード](#)）。



### 往路 1月2日(金) (大手町→箱根芦ノ湖)



### メッセージ募金のお願い

国学院大学では現在、オンライン上から陸上競技部のメンバーへの応援メッセージを直接投稿できる「メッセージ募金」（寄付）を募集しております。クレジットカード決済によりワンコイン（500円）から寄付が可能で、年間2,000円を超える場合は税制上の優遇措置を受けることができます。匿名での申し込みも可能ですので、箱根駅伝初優勝に向けて奮闘する陸上競技部へのご声援よろしくお願ひいたします。

※メッセージ募金HP（[二次元コード](#)）

上の「寄付目的」欄を変更いただくことで陸上競技部以外へのメッセージ募金・寄付の申し込みも可能となります。

問財務部経理課（☎03・5466・0115）



### 復路 1月3日(土) (箱根芦ノ湖→大手町)

芦ノ湖

箱根芦ノ湖

5区 6区

箱根 ⇄ 小田原

函嶺洞門

5区 11:50集合 12:20頃通過予定

6区 8:20集合 8:50頃通過予定

スタート・ゴール付近:箱根・国学院大学指定場所

●スタート あしこ茶屋

●ゴール あしこ茶屋

スタート・ゴール付近:日比谷・国学院大学指定場所

●スタート 第一生命日比谷ファースト

●ゴール 日比谷国際ビル

JR・京浜急行品川駅前

4区 11:15集合 11:45頃通過予定

7区 8:50集合 9:20頃通過予定

JR・京浜急行新子安駅前

2区 8:45集合 9:15頃通過予定

9区 11:30集合 12:00頃通過予定

京浜急行新子安駅前